

<洋菓子のクラブハリエ>

新作『ドライバーム抹茶』&『抹茶バーム』を販売

～宇治抹茶をたっぷり使用した濃厚秋スイーツが今年は通販限定で登場！～

洋菓子製造販売で多くのファンをもつ株式会社クラブハリエ(本社:滋賀県近江八幡市 代表取締役社長:山本隆夫)は、秋の新作商品『ドライバーム抹茶』と、昨年新発売し大好評だった『抹茶バーム』を、2020年9月よりクラブハリエのオンラインショップにて期間限定販売いたします。

秋の新作商品『ドライバーム抹茶』は、『抹茶バーム』をスライスしてオープンで香ばしく焼きあげたもの。ほろ苦い抹茶の風味と、サクサクの軽い食感が楽しめます。『抹茶バーム』には、焼き上げた時の味わいや香りを追求したクラブハリエ専用仕様の宇治抹茶「京の緑 強火」を生地に使用。バームクーヘンのやわらかな食感そのままに、豊かな抹茶の風味を感じていただける一品に仕上げました。お召し上がりの際に別添えの抹茶「京の緑」をかけていただくことで、より深い味わいをお楽しみいただけます。その年の新茶を詰めた茶壺の口を開ける「口切り」で、開炉の季節である11月までの期間限定商品として販売いたします。

抹茶の味を究極まで追求した新作「ドライバーム抹茶」&「抹茶バーム」



ドライバーム抹茶 6個入 930円(税込 1,004円)  
販売期間:9月15日(火)～11月中旬(数量限定)



抹茶バーム 1,700円(税込 1,836円)  
販売期間:9月1日(火)～11月中旬

<クラブハリエとは> <http://clubharie.jp/>

人々が語らう「倶楽部(クラブ)」のようにあたたかく、キラキラと輝くガラス絵「玻璃絵(ハリエ)」に夢を託し、1951年滋賀県近江八幡市で創業しました。地元の方々に愛される看板商品「バームクーヘン」は百貨店への出店をきっかけに全国的に話題となり、多くの方々に大好評いただけるようになりました。また世界大会出場経験をもつパティシエを多く輩出するクラブハリエでは若手パティシエが挑戦する様々なスイーツを販売しています。

<本件に関する問い合わせ先>

たねやグループ 社会部 広報室

TEL:0748-31-3844 FAX:0748-31-3800 e-mail:[press@taneya.co.jp](mailto:press@taneya.co.jp)

クラブハリエ広報事務局 中野・星川

TEL:03-4580-9101 FAX:03-4580-9127 e-mail:[pr.club-harie@prap.co.jp](mailto:pr.club-harie@prap.co.jp)

### ■ 開発テーマと完成までの期間

開発テーマは、「まるで抹茶を嗜んでいるような味わいを表現した究極の『抹茶バームクーヘン』」。  
2016年～2019年にかけての約3年の開発期間を経て誕生しました。扱いの難しい抹茶について、すぐに完成品を作りだそうとせず、「本物」と「こだわり」の追求を目指し、まずは、自分が「抹茶のプロフェッショナル」を目指して開発がスタートしました。

### ■ 完成に至るまでのレシピ数/試作のバームクーヘンの数

今回の販売に漕ぎつけるまで、レシピの試行錯誤を続けること約50回。生地との味と抹茶の味のバランスを意識し、焼き続けたバームクーヘンの試作の数150本以上。さらに、10回以上の社内プレゼンテーションを経て、ようやく商品化にたどり着いた、クラブハリエの看板商品、バームクーヘンとして7年ぶりの新作商品となりました。

### ■ 抹茶バームこだわりのポイント

「抹茶」本来の繊細さを生かしたバームクーヘンにすることに拘って作っています。一番時間をかけたのは抹茶選び。抹茶は火入れ具合で味や風味が異なるため、数々の抹茶を前に試作を繰り返し、時間をかけて何種類もの中から最適な品種を選びぬきました。京都の茶畑視察時に味わったお茶からヒントを得て、これまでの製造工程にひと工夫加えることで、求めていた味を表現。茶葉が決まってからは、試行錯誤の日々でしたが、そこから3年の年月を経て、クラブハリエが自信を持って提供できるクオリティに仕上げることができました。抹茶の鮮やかな色味を保つには「光」が天敵。そこで個装袋や製造工程でも遮光性にこだわった素材を使用し、包装にも工夫しました。



#### <開発者プロフィール>

##### 小濱亮介(おばまりようすけ) 31歳

高校卒業後、2007年4月1日クラブハリエに入社し、現在、バーム工場の工房長として、今年で勤続13年目を迎える社員。日々、新商品を構想する中、世の中に抹茶“風味”のお菓子が溢れているのを見て、お抹茶をいただいた時のような風味、味わいを表現したお菓子を作りたいと決意。クラブハリエの代名詞でもあるバームクーヘンと抹茶のコラボレーションを実現したいと立ち上がり、その熱意をもって開発をスタートさせました。

より詳細な商品情報は下記よりご覧いただけます。

<http://clubharie.jp/corporate/news/2020/09/macchabk.html>